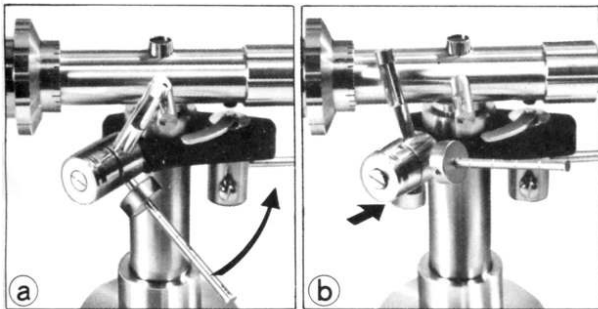


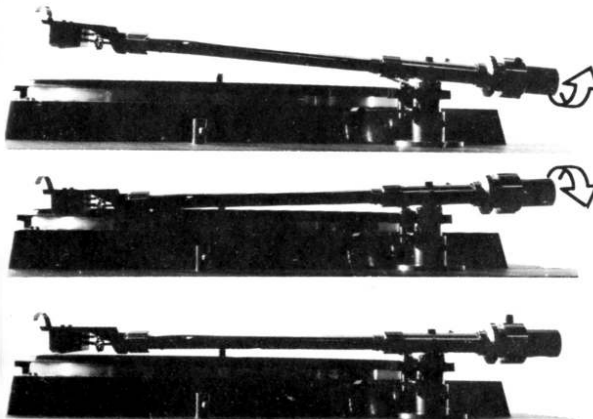
D アームの調整



D-1

水平バランスの調整

水平バランスを調整する前に、
 キャンセラー⑭を⑮の状態にして
 バイアス解除クラッチ⑱をロック(押す)します。
 バランス・ウェイト②のおよそ中心あたりに
 リング・ウェイト③を止めます。



バランス・ウェイト②を回して アームが
 水平になる様にします。水平にならない時は
 リング・ウェイト③を適宜前後させてから、
 再びバランス・ウェイト②を回します。

D-2 針圧調整

水平バランスがとれたら ④ウェイト前部の針圧リング④だけを回し
 (ウェイト本体は動かさない様に)

0グラム標示を軸受部⑤上部の線上に合わせます。

⑥次に バランス・ウェイト②本体を回すと

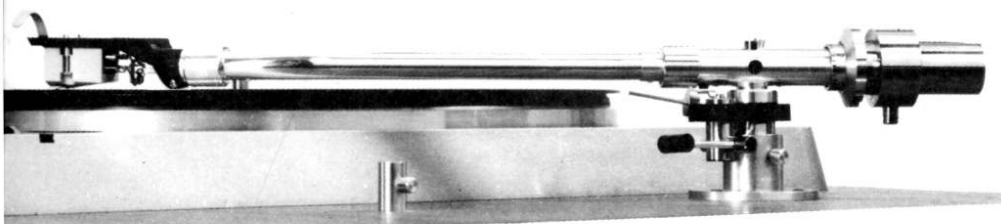
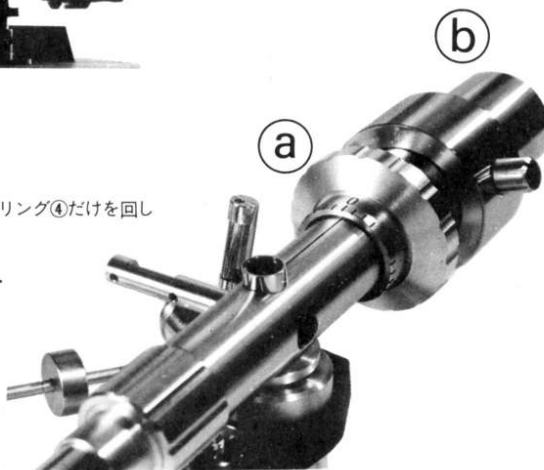
針圧リング④も同時に回転しますので、

所要の針圧値の点で止めて下さい。

目盛は0.1g ステップ、1回転で3g (UA-7)、

あるいは2g (UA-70) になります。

もちろんそれ以上の針圧を掛けることもできます。



D-3 高さ調整

針先をレコード面におろした時、アーム・パイプ⑨がレコード面に平行になるように軸受部の高さを調整します。

高さ [プレーヤー・ボードとシェル・カートリッジ取付面の間] は45mmから78mmまで可変できます。

調整後、スタンド止ネジ⑩はしっかり締めておいて下さい。



D-4

インサイド・フォース・キャンセラーの調整

水平バランス調整の時ロックしたバイアス調整クラッチ⑲を引いて、
 キャンセラーが動作状態になる様にします。

これを忘れると軸受部の動きが規制され、

レコードや針先を傷めることがありますからご注意下さい。

バイアス量は針圧によって調整します。

バイアス調整ウェイト⑳を使用針圧と同じ値の位置に合わせて下さい。

(図は1.0gを示しています。) 厳密に言えば 同一針圧でもカートリッジやレコードによって

インサイド・フォース量は変化します。

もし指定値で満足な結果が得られない場合は、

バイアス調整ウェイト⑳を上記位置より多少前後にずらして

耳で聴いて最も良い位置にセットして下さい。

ブラッシュ付カートリッジの場合は、

その仕様によりバイアス量を定めて下さい。

●カートリッジを交換した場合は

D1, 2, 3, 4の順で再調整します。